



福岡県感染症情報ホームページでは、
感染症発生情報、病原体検出情報などを
ご覧になれます。

がん感染症疾病対策課感染症対策係
担当 中尾 長藤
直通：092-643-3597
内線：3065

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和8年第21週（令和8年5月18日～令和8年5月24日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- 今年県内1例目となる重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の報告がありました。本疾患は、主に病原体を保有するマダニに刺されることで感染します。症状は、38℃以上の発熱や、消化器症状（食欲低下、吐き気、嘔吐、腹痛、下痢）等で、重症化すると死に至ることがあります。草むらや藪等、マダニが生息する場所に入る際には、マダニに刺されないように、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用し、肌の露出部分を少なくして、忌避剤を使用しましょう。吸血中のマダニを見つけた場合は、無理に引き抜こうとせず、医療機関（皮膚科等）で処置（マダニの除去、洗浄等）してもらいましょう。また、ペットを介して屋内にマダニが持ち込まれる場合もあることから、散歩の後等にペットにマダニがついていないか確認しましょう。
- 6月1日から7日は「HIV検査普及週間」です。県内の保健所等では、エイズ（HIV）・性感染症の臨時検査を実施します。詳しくは、県内の保健所等までお問合せください。

■ 全数把握疾患報告

| 病名 | 福岡県 | | 全国（前週） | |
|--------------------|-----|-------|--------|-------|
| | 報告数 | 累積報告数 | 報告数 | 累積報告数 |
| 結核 | 16 | 303 | 254 | 5,208 |
| 腸管出血性大腸菌感染症 | 2 | 42 | 65 | 772 |
| 重症熱性血小板減少症候群（SFTS） | 1 | 1 | 10 | 49 |
| カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 | 1 | 26 | 15 | 367 |
| 侵襲性インフルエンザ菌感染症 | 1 | 14 | 16 | 223 |
| 侵襲性肺炎球菌感染症 | 2 | 56 | 66 | 1,294 |
| 水痘（入院例） | 2 | 13 | 18 | 302 |
| 梅毒 | 13 | 264 | 147 | 4,084 |
| 百日咳 | 5 | 126 | 133 | 2,862 |

■ 定点把握疾患報告数

 : 警報

 : 注意報

| 病名 | 福岡県 | | | 全国（前週） | |
|----------------|-------|-------|------|---------|-------|
| | 報告数 | 定点当たり | 前週比 | 報告数 | 定点当たり |
| 新型コロナウイルス感染症 | 44 | 0.36 | 1.26 | 1,395 | 0.37 |
| インフルエンザ | 7 | 0.06 | 0.88 | 527 | 0.14 |
| 急性呼吸器感染症 | 5,605 | 45.94 | 0.96 | 177,315 | 47.59 |
| RSウイルス感染症 | 42 | 0.60 | 1.14 | 633 | 0.28 |
| 咽頭結膜熱 | 61 | 0.87 | 0.81 | 974 | 0.43 |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 334 | 4.77 | 0.94 | 6,828 | 3.02 |
| 感染性胃腸炎 | 430 | 6.14 | 1.04 | 11,317 | 5.01 |
| 水痘 | 60 | 0.86 | 0.90 | 1,095 | 0.48 |
| 手足口病 | 264 | 3.77 | 1.76 | 1,477 | 0.65 |
| 伝染性紅斑 | 1 | 0.01 | 1.00 | 196 | 0.09 |
| 突発性発しん | 29 | 0.41 | 0.78 | 823 | 0.36 |
| ヘルパンギーナ | 55 | 0.79 | 1.28 | 331 | 0.15 |
| 流行性耳下腺炎 | 2 | 0.03 | 0.50 | 84 | 0.04 |
| 急性出血性結膜炎 | 0 | 0.00 | - | 8 | 0.01 |
| 流行性角結膜炎 | 29 | 1.12 | 0.97 | 358 | 0.52 |
| 細菌性髄膜炎 | 0 | 0.00 | - | 10 | 0.02 |
| 無菌性髄膜炎 | 0 | 0.00 | - | 13 | 0.03 |
| マイコプラズマ肺炎 | 2 | 0.13 | 2.00 | 75 | 0.16 |
| クラミジア肺炎 | 0 | 0.00 | - | 7 | 0.01 |
| 感染性胃腸炎（ロタウイルス） | 0 | 0.00 | 0.00 | 30 | 0.06 |

⚠️ マダニにご注意ください ⚠️

春から秋にかけての季節は、マダニの活動が特に活発になります！

病原体を保有するマダニに刺されることで、人獣共通感染症である**重症熱性血小板減少症候群(SFTS)**、**ダニ媒介脳炎**、**日本紅斑熱**、**ライム病**などにかかることがあります。山や草むらでの野外活動の際は、下の4つを参考にして、マダニに刺されないようにしましょう。

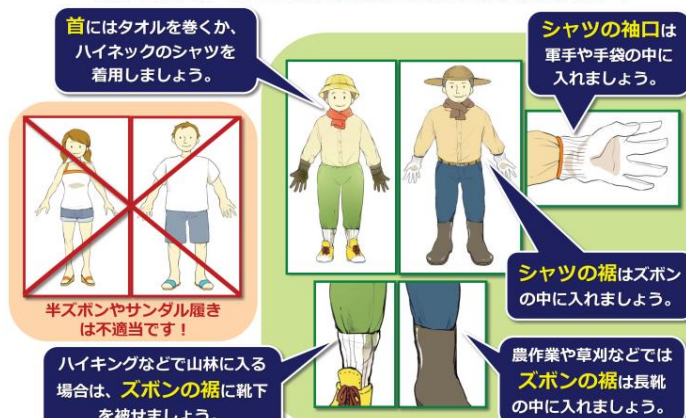
(これらの予防方法はツツガムシに刺されて感染するつつが虫病の予防にも有効です。)

1. マダニの生息場所



2. マダニから身を守る服装

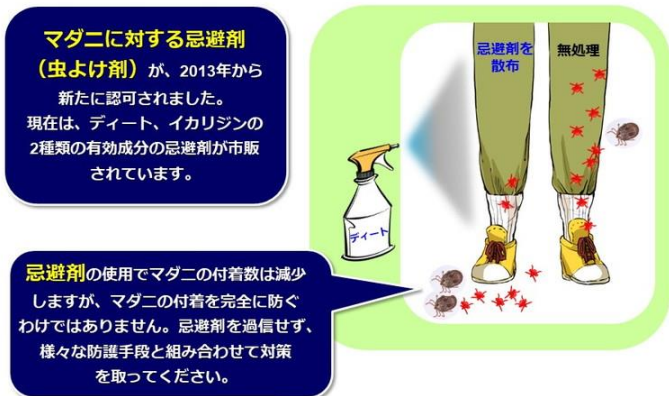
野外では、腕・足・首など、肌の露出を少なくしましょう！



3. マダニから身を守る方法



4. 忌避剤の効果



ダニに刺されたときは無理に引き抜こうとせず、医療機関(皮膚科など)で処置(ダニの除去、洗浄など)をしてもらいましょう。

